

**中学校技術・家庭科（家庭分野）**  
**第3学年「環境や社会を変える消費生活を考えよう」**

**1 題材の目標等**

**(1) 目標**

- 自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解する。
- 自分や家族の消費生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、計画を立てて実践した結果を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。
- 自分や家族の消費生活について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、家庭や地域などで実践しようとする。

**(2) 題材について**

私たちはエコバッグやマイ箸、マイボトルを使用するなど、環境に配慮した行動をとっている。しかし、海洋生物への被害や空気・河川の汚染、地球温暖化といった環境問題を解決し、持続可能な社会を構築するためには、更なる取組が必要である。

本題材では、自分や家族・地域の消費行動によって、物資・サービスの購入から廃棄における環境負荷を軽減させるとともに、それが企業への働き掛けとなり、商品の改善につなげることができることに気付かせる。持続可能な社会を実現していくために、自立した消費者として、責任ある消費行動を考え、工夫することができるようにすることを目指していく。

**2 題材の評価規準**

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について、理解している。	①自分や家族の消費生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、計画を立てて実践した結果を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	①よりよい生活の実現に向けて、自分や家族の消費生活について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、家庭や地域などで実践しようとしている。

**3 環境教育で育成する主な資質・能力（ESDの視点）**

【ケ 自ら進んで環境の保護・保全に参画しようとする態度（進んで参加する態度）】

よりよい生活の実現に向けて、家庭・地域における環境に配慮した消費行動を考え、主体的に実践・継続しようとする態度を育成する。

**4 環境教育で対象とする主な内容（ESDの構成概念）**

【H 生活様式の見直し（責任性）】

自分や家族の消費行動を振り返り、環境に配慮した消費生活の実践につなげていくことを視点とした内容を扱う。

## 5 主なSDGsとの関連



(目標 12) 3Rを実践するなどして、持続可能な社会を目指した消費行動と生産活動を行い、(目標 14) 海洋と海洋資源の保全など、海の環境や、(目標 15) 陸域生態系、森林、生物多様性など、陸の環境を自らの行動で守り、豊かな生活を実現することにつながっていく。

## 6 学習指導計画 (4時間)

時	○主な学習活動	□主な支援 ◆主な評価 〈環境教育で育成する主な資質・能力〉
1	<p>自分や家族の消費生活が環境に及ぼす影響について学習課題を立てよう</p> <p>○エコバッグやマイ箸、マイボトルを使用する人が増加しているグラフや新聞記事から、その理由を分析する。</p> <p>○自分の生活や消費行動を振り返り、どのような行動が、海の生き物への被害や空気・河川の汚染、地球温暖化などの環境負荷につながるのか考える。</p> <p>○環境負荷を軽減するためには、どのような消費行動が必要なのか、学習課題を立てる。</p> <p>学習課題 どのような消費行動をすれば、環境負荷を軽減できるだろうか</p> <p>○学習を振り返り、自分だったらどのようにして環境負荷を軽減させることができるか課題をまとめる。</p>	<p>□エコバッグやマイ箸、マイボトルの実物を示し、これらを使用する効果について考えさせる。</p> <p>□社会や理科等の既習事項を取り上げ、自分の生活が身近な環境から影響を受けたり、逆に与えたりしていることを想起させる。</p> <p>□SDGsの関連目標を提示し、環境負荷を解決していく取組の必要性に気付かせる。</p> <p>□物資・サービスの購入から廃棄までの道筋の図を提示し、自分の消費行動の流れをイメージしながら、どのような影響があるか考えられるようにする。</p> <p>◆自分の消費行動が環境や社会に及ぼす問題を見だし、課題を設定している。</p> <p style="text-align: right;">【思①】</p>

<p>2 ・ 3</p>	<p>環境負荷につながる消費行動とは、どのようなことだろうか</p> <p>○自分や家族が、生活に必要な物を購入する際の選択・購入から廃棄までの過程において、どのような環境負荷につながる行動があるか調べる。</p> <p>○環境負荷につながる行動やサービスごとの班を編成し、意見交換しながら、よりよい取組について考える。</p> <p>○各班の取組の発表から、自分の課題を解決するための方法や分かったことについてまとめる。</p> <p>○環境負荷につながる消費行動の改善や商品開発のアイデアを考え、個人で企画書にまとめる。</p> <p>○個人で考えた企画書を班内で発表し、協議を通して班としての提案書にまとめる。</p>	<p>□自分の小遣い等で購入できる物を選び、消費者、販売者、生産者それぞれの立場における環境負荷につながる行動をまとめさせる。</p> <p>□班の中の意見を互いに発表させて、その取組がなぜよいのかという視点で協議させる。</p> <p>◆環境に配慮したライフスタイルを実現するための方法について考え、工夫している。 【思①】</p> <p>□家族や地域の人からの情報やインターネット等による資料を基に、それぞれのアイデアを企画書にまとめさせる。</p> <p>◆自分や家族の消費行動が、環境への負荷を軽減させ、企業の商品の改善につながっていることを理解している。 【知①】</p>
<p>4 (本時)</p>	<p>持続可能な社会を目指した消費生活をしよう</p> <p>○他の班の提案書及び企画書を読み、自分、家族、地域及び企業が実践可能な提案であるかを評価する。</p> <p>○他の班からの評価が高かった提案書の作成者から提案の意図や工夫点を聞き、自分の班の提案書を見直し、改善を図る。</p> <p>○自分や家族の消費生活をどのように改善すれば、環境負荷の軽減につながるのか考え、消費生活の在り方やライフスタイルについて改善したいこと、自分や家族、地域に伝えていきたいことをまとめる。</p>	<p>□環境負荷を軽減するために、自分、家族、地域及び企業が実践できることを持続可能な社会の構築の視点で評価させる。</p> <p>◆環境への負荷を軽減するための提案書について、評価したり改善したりしている。 【思①】</p> <p>◆よりよい生活の実現に向けて、自分や家族の消費生活の在り方やライフスタイルを改善して、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 【態①】 (ケ 自ら進んで環境の保護・保全に参画しようとする態度)</p>

## 7 本時の展開例（4/4時間）

### （1）本時の目標

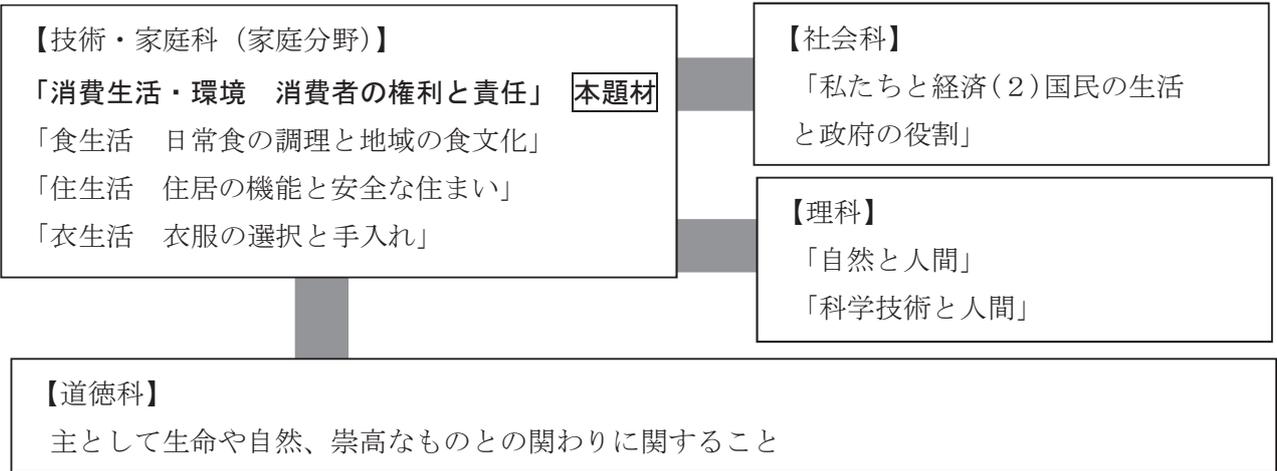
環境負荷を軽減するための提案書を評価したり改善したりする活動を通して、自分や家族の消費生活の在り方やライフスタイルを改善して、生活を工夫し創造し、実践しようとする。

### （2）本時の展開

○主な学習活動	□主な支援 ◆主な評価 〈環境教育で育成する主な資質・能力〉
<p>企画提案から持続可能な社会へ</p> <p>○本時の学習のねらいを確認する。</p> <p>○提案書の内容を確認して、特に提案したいアピールポイント（工夫点）を確認する。</p>	<p>□本時は、様々な資源をどのように活用することが環境への負荷を軽減させることなのかを考えるよう見通しをもたせる。</p>
<p>○他の班の提案書及び企画書を読み、自分、家族、地域及び企業が実践可能な提案であるかを評価する。</p> <p>（流れ）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・机上に班員分の企画書と班で作成した提案書を用意する。</li> <li>・班（4人程度）単位で他の班の提案書と企画書を読み合わせる。</li> <li>・環境に配慮した消費行動や商品の改善について、自分、家族、地域及び企業が実践可能な提案であるかを評価したり、更に追加できるアイデアを出し合ったりする。</li> <li>・他の班の提案の良い点について、シールや付箋を付ける。</li> </ul> <p>○他の班からの評価が高かった提案書の作成者から提案の意図や工夫点を聞き、自分の班の提案書を見直し、改善を図る。</p>	<p>□ICTを活用し、評価の方法や評価の基準を細かく提示し、提案の良さを理解できるようにする。</p> <p>□人数が少ない場合はポスターセッションも考えられる。</p> <p>□3分程度で、次の班へ移動するよう促す。（ブレインストーミング）</p> <p>□班員の対話から、自分の気付かなかった工夫だと思ったことについては、メモをするように指示する。</p> <p>□環境への負荷を軽減するために、自分、家族、地域及び企業が実践できることを持続可能な社会の構築の視点で評価させる。</p> <p>□企業が「脱炭素化」に向けて、事業用の電力を火力発電から再生可能エネルギーに変えたり、自然エネルギーを扱う企業に投資したりする取組があることを説明し、SDGsとの関連も視野に入れながら、自分の企画書を改善するように指示する。</p> <p>◆環境への負荷を軽減するための提案書について、評価したり改善したりしている。</p> <p style="text-align: right;">【思①】</p>

<p>○自分や家族の消費生活をどのように改善すれば、環境負荷の軽減につながるのか、消費生活の在り方やライフスタイルについて改善したいこと、自分や家族、地域に伝えていきたいことをまとめる。</p>	<p>◆よりよい生活の実現に向けて、自分や家族の消費生活の在り方やライフスタイルを改善して、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 【態①】 〈ケ 自ら進んで環境の保護・保全に参画しようとする態度〉</p>
---	---

## 8 学習のつながり



## 9 外部人材、地域資源等の活用

- 電気、ガス、水などエネルギー関連企業から省エネルギーについての事例を聞き、助言を得る。
- 様々な企業から先行的に環境に配慮した商品・最先端の活用方法などの事例を聞く。
- リサイクル関連企業に最先端の活用方法を聞く。
- 地域の消費生活センターと連携し、情報を得る。

## 10 ホームページ等の資料

- 環境省 こども環境省  
<https://www.env.go.jp/kids/>
- 一般財団法人 環境イノベーション情報機構 このゆびとまれ！エコキッズ  
<http://www.eic.or.jp/library/ecokids/>
- 東京都環境局ホームページ  
<https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/>  
・TOKYO環境学習ひろば
- 東京都環境局キッズページ  
<https://www.kankyo.metro.tokyo.lg.jp/kids/index.html>